

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	犯罪をゆるさないまちづくりの推進			施策No	11-04	部課名	区民生活部生活安全課		
						課長名	茶谷	内線	494
関連部課名	子ども家庭部子育て支援課、児童青少年課、保育課、防災都市づくり部土木管理課、教育委員会事務局教育総務課								
行政評価	分野	VI	安全安心都市						
事業体系	政策	11	防災・防犯のまちづくり						

目的 区内の犯罪に関する情報や被害防止策等を区民に周知し、防犯意識の向上を促すとともに、安全・安心パトロールカーによる巡回や防犯カメラの設置等により、犯罪が起きにくい環境を整備することで、誰もが安全安心を実感できるまちの実現を目指す。

指

幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
	30年度	元年度	2年度		
① 犯罪への不安	3. 06	3. 04	—	お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？	
② 安全・安心の実感	2. 60	2. 69	—	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？	
③					
④					

標

施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
① 刑法犯認知件数（全体）（件）	1, 517	1, 537	1, 242	1, 150	1, 000	23区最少件数を目指す
② ゲートウェイ犯罪（※1）の件数（自転車盗、万引き）（件）	604	680	650	620	480	※1…ゲートウェイ犯罪とは重大な犯罪へ手を染める契機となるもの
③ 指定重点犯罪（※2）の件数（件）	125	133	125	116	70	※2…強盗、侵入窃盗、ひったくり、特殊詐欺、自動車盗などの7罪種
④ 特殊詐欺の件数（件）	38	58	26	20	4	※3…オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺等、手法は多岐に渡る
⑤ 指導員配置時における児童の交通事故発生件数（件）	0	0	0	0	0	

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				元年度	2年度	差額	勘定科目				元年度	2年度	差額
	行政費用	給与関係費		82,792		80,932	▲ 1,860	行政収入	地方税等		0		0	0
		物件費		503,918		479,129	▲ 24,789		国庫支出金		2,222		2,426	204
		維持補修費		13,079		8,313	▲ 4,766		都支出金		49,448		43,640	▲ 5,808
		扶助費		0		0	0		分担金及び負担金		0		0	0
		補助費等		46,985		38,939	▲ 8,046		使用料及び手数料		0		0	0
		減価償却費		177		177	0		その他		0		75	75
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0	0		行政収入合計(a)		51,670		46,141	▲ 5,529
		賞与・退職給与引当金繰入額		8,112		21,681	13,569		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 640,782	▲ 620,538	20,244		
		その他行政費用		37,389		37,508	119		金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)		692,452		666,679	▲ 25,773	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 640,782	▲ 620,538	20,244					
特別費用(g)		0		0	0	特別収入(f)		0		0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 640,782	▲ 620,538	20,244					
貸借対照表	勘定科目				元年度	2年度	差額	勘定科目				元年度	2年度	差額
	流動資産	収入未済		0		0	0	流動負債		3,312		3,318	6	
		不納欠損引当金		0		0	0		還付未済金		0		0	0
		その他の流動資産		0		0	0		特別区債		0		0	0
	固定資産	有形固定資産		12,842		29,330	16,488	賞与引当金		3,312		3,318	6	
		土地		9,608		26,272	16,664	その他の流動負債		0		0	0	
		建物		9,324		9,324	0	固定負債		31,984		39,344	7,360	
		建物減価償却累計額	▲ 6,090	▲ 6,267	▲ 177	特別区債		0		0	0	0		
		工作物等		0		0	0	退職給与引当金		31,984		39,344	7,360	
		工作物等減価償却累計額		0		0	0	その他の固定負債		0		0	0	
		無形固定資産		0		0	0	負債の部合計		35,296		42,662	7,366	
		建設仮勘定		0		2,661	2,661	正味財産	▲ 22,454	▲ 10,671	11,783			
	その他の固定資産		0		0	0	正味財産の部合計	▲ 22,454	▲ 10,671	11,783				
	資産の部合計		12,842		31,991	19,149	負債及び正味財産の部合計		12,842		31,991	19,149		

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用では物件費の割合が高く、治安向上対策事業の安全・安心パトロール業務の委託料等が占めている。
- 補助費等は、主に町会に対する防犯カメラ設置等補助であり、2年度は申請団体減に伴い減少している。
- その他行政費用は、主に街路灯新設改修事業における老朽化した街路灯の整備工事等に係るものである。
- その他行政収入は、青色パトロールカーの車両リコールに伴い発生した重複点検料の返金収入である。
- 貸借対照表の有形固定資産は、安全・安心ステーションに関するもので、2年度は峡田ステーション移設に伴う用地取得により、土地残高が増額している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○区では、令和2年の刑法犯認知件数が前年と比べて大幅に減少し、区民の体感治安に直結する指定重点犯罪やゲートウェイ犯罪として位置付けられている自転車盗、万引きも減少傾向にあるものの、いまだ高い水準で発生している。また、特殊詐欺についても新たな手口が次々と発生しており、被害が止まない状況にある。 ○令和2年度荒川区世論調査によると、「今後、区に力を入れて欲しい事業」に「地域防犯の取組」が2位に挙げられていることから、区民の防犯に対する意識・関心が高いことが窺える。 ○安全安心パトロールカーによる巡回、防犯カメラの活用、安全安心ステーションを拠点としたパトロール等、犯罪を抑止するための環境整備を進めている。
課題	○犯罪の発生傾向、特に特殊詐欺の具体的な手口は年々変化していることから、警察との適時・適切な情報共有を図りつつ、犯罪傾向の変化を的確に把握・分析し、実効性のある対策を講じていく必要がある。 ○区内における犯罪発生件数の継続的な低減を図るため、刑法犯認知件数の約4割を占めている自転車盗及び万引きについて、重点的な対策を進めていく必要がある。 ○荒川区は23区内でも刑法犯認知件数が少なく、トップクラスに治安の良い街であり、区民の防犯意識も非常に高いことから、今後も、官民連携したPRや啓発活動を積極的に進めていき、体感治安の向上をすべく防犯対策を強力に推進していく。 ○区及び町会が設置した防犯カメラの経年劣化による更新を計画的に進めていく必要がある。
今後の方向性	○特殊詐欺対策については、被害者の約8割を占める高齢者を中心に、広報誌やチラシ、各種防犯講話、戸別訪問等あらゆる機会を通じて、高い防犯意識の醸成に努め、区内における被害防止を強力に推進する。また、引き続き防災行政無線の放送と連動させた青パト等の機動的なパトロールの展開、警察署と連携したATM警戒を実施していく。 ○体感治安に直結する指定重点犯罪を減少させ、より安全・安心を実感できる街を目指すとともに、規範意識の低下を助長し重大犯罪に手を染める契機となる自転車盗や万引きなどのゲートウェイ犯罪への対策を重点的に推進する。また、昨年、都内で突発した区民の安全安心な生活に多大な影響を及ぼす「アポ電強盗」などの犯罪発生時には、迅速かつ効果的に広報・啓発を行う。 ○防犯イベントや安全・安心かわら版などを通じて、「自らの手で街の治安を守ろう」という気運を高めるとともに、関係機関や町会等と協働した取組を推進することで、地域の見守りの活動の輪を広げ、区を挙げて治安ナンバーワン都市を目指す。 ○地域の防犯力の柱である防犯カメラの経年劣化に備え、必要かつ計画的な更新作業を進めていき、特に地域団体が設置した防犯カメラの更新時には、きめ細やかなサポートを行う。

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	誰もが安全安心に暮らすことのできるまちづくりを推進するために、地域・警察・区が一丸となって犯罪抑止に取り組む必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
自転車盗難対策	04-06-01	36,251	37,645	32,782	32,028	重点的に推進	重点的に推進	自転車盗難は刑法犯認知件数の約3割を占めるなど、区民の体感治安に及ぼす影響が大きいため、対策を重点的に推進する。
荒川区安全・安心ステーション	04-06-02	18,945	23,465	13,216	33,957	重点的に推進	重点的に推進	地域における防犯活動の拠点であり、区民の安全・安心に直接関わる事業であるため、重点的に推進する。
防犯カメラを活用した防犯環境の整備	04-06-06	37,033	26,315	29,400	15,081	重点的に推進	重点的に推進	犯罪抑止及び地域の防犯力向上を図る重要な事業であるため、重点的に推進する。
特殊詐欺対策	04-06-08	30,957	39,184	21,936	26,029	重点的に推進	重点的に推進	特殊詐欺被害1件の被害額が大きく、区民に与える影響が大きいため、被害撲滅のための取組を重点的に推進する。
治安向上対策事業	04-06-09	93,070	94,655	84,743	82,485	重点的に推進	重点的に推進	区民の防犯意識の向上や犯罪抑止を図り、治安ナンバーワンを目指すため、重点的に推進する。
私立幼稚園等安全推進事業費補助	10-01-30	341	163	49	—	継続	継続	幼稚園等の安全設備充実のために継続的に実施していく。
学童クラブ安全対策事業	10-02-17	38,394	36,975	18,167	19,046	推進	推進	児童の安全の確保を図るため、継続して推進する。
保育園安全見守り事業	10-03-15	39,873	36,775	39,873	36,775	推進	推進	保育園児の安全確保のために継続して推進する。
街路灯維持事業	11-04-15	85,815	79,681	81,737	76,518	推進	推進	地域の交通安全や防犯の事業であるため、推進する。
街路灯新設改修事業	11-04-16	87,403	85,334	82,597	81,117	継続	継続	夜間における道路上の照度を保つために必要な事業であるため、継続して実施する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
私道・商店街照明灯助成 事業	11-04-17	26,289	22,699	17,061	16,549	継続	継続	夜間における通行の安全 を確保する事業であるた め、継続して実施する。
私道照明灯新設事業	11-04-18	14,274	10,940	10,767	7,601	継続	継続	夜間における道路の安全 確保のための事業であるた め、継続して実施する。
学校情報配信システム	13-01-07	2,059	2,058	1,643	1,661	継続	継続	緊急時の連絡手段として 重要性が高まっており、ま た子どもの安全に関わる情 報を迅速に共有していくた め、継続して実施してい く。
児童交通安全対策費	13-01-09	51,522	47,992	51,106	47,595	推進	推進	通学する児童の交通安全 の確保のため継続して推進 する。
児童安全推進員	13-01-10	47,204	43,321	46,788	42,924	推進	推進	児童の安全確保のため継 続して推進する。
学校安全パトロール	13-01-11	33,622	33,402	33,206	33,005	重点的 に推進	重点的 に推進	見守りを行うことにより 事故等の発生を抑止するた め、極めて優先度は高い。
学校夜間管理（小学校）	13-01-12	29,550	26,873	29,134	26,476	継続	継続	夜間における学校施設の 適切な管理及び安全の確保 を図るため、継続して実施 する必要がある。
学校夜間管理（中学校）	13-01-13	13,664	12,576	13,248	12,179	継続	継続	夜間における学校施設の 適切な管理及び安全の確保 を図るため、継続して実施 する必要がある。
小学校通学路の防犯カメ ラ整備	13-01-18	6,187	6,626	2,863	3,448	継続	継続	設置した防犯カメラにつ いて活用し、通学路及び区 内の生活安全を図るため、 維持補修及び計画的更新を 行っていく。
合 計		692,453	666,679	610,316	594,474			